

広 報

ふじがわ

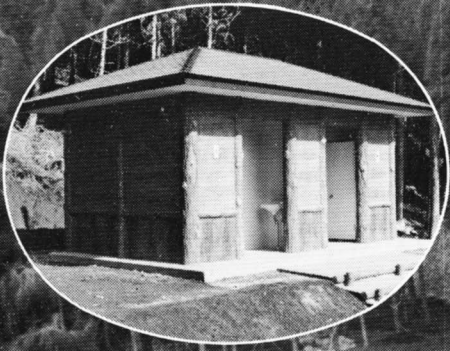
3 月号 昭和58年 3月22日発行

No. 260

町のメモ

昭和58年 3月1日現在	
人口	16,992人
増減	+1人
男	8,400人
女	8,592人
世帯数	4,326世帯
面積	31.09㎡

富士川町 総務課



野田山は春です

(表紙のことは2ページE)

町の今年の目標
「笑顔であいさつ明るい町に」

中央公民館建設基金積立金に 1,633万円 財政調整基金積立金に 3,000万円を補正 昭和57年度一般会計は26億1,496万円に

町議会の3月定例会は、3月9日(水)午
前9時から議場で開催され、常葉町長の一般
行政報告・昭和58年度重点施策を皮切りに、
昭和57年度一般会計補正予算や昭和58年度一
般会計予算、国民健康保険・水道事業・土地
取得・老人保健の各特別会計、選挙管理委員
同補充員の選挙について、野田育英奨学基金
条例の一部を改正する条例について、町立幼
稚園授業料徴収条例の一部を改正する条例に
ついてなど十八議案が審議され、本会議最終
日の18日(金)にはすべて原案どおり可決さ
れました。

昭和57年度一般会計補正予算は、事務合理
化基金や財政調整基金・野田育英奨学基金・
中央公民館建設基金への積立金・都市計画道
路用地取得費が主ですが、反面、県委託事業
中野宅内主道路埋設下水管布設委託金、人
勤凍結による人件費などが減額されたため四
千九百八十万円の減額補正となり、予算総額
は二十六億一千四百九十六万円となります。
なお今月は3月定例会の内、一般行政報告
と昭和57年度一般会計補正予算を紹介するこ
ととし、昭和58年度の重点施策とそれを反映
した各予算は4月号で特集します。

一般行政報告

◎県企業局による中野宅地分譲事
業は新年度から一部造成開始
中野の用地買収については、み
なさんのご協力をいただき、厚く
お礼を申し上げます。
未契約のみなさんに対しての用
地交渉は、鋭意進めています。し
かし現状では、新年度への一部繰
越しもあるかもしれません。また
これと平行して行っています持家
のみなさんとの話し合いは、基本
的に了解をいただき、個々の話し
合いに入っています。つぎに、遺
跡の発掘調査は予定どおり進んで
おり、新年度も一部行われる予定
です。

◎共立蒲原総合病院は4月11日に
竣工式
建設中の病院もほとんど完成し
2月28日には建物など一部の引渡
しも終了、4月11日の竣工式に向
けて準備も着々と進んでいます。
一方周辺の植樹工事も進んでお
り、加えて4月26日には県主催の
植樹祭も病院用地内で行われま
す。そして5月1日には、待望久
しい新病院の開院となります。
また、4月中旬には町民のみな
さんに対しての施設見学も予定し
ています。地域の医療の飛躍的な
発展を期待したいと思います。

◎都市計画道路の岩淵一小池下線
は測量を実施中
都市計画審議会で決定された岩
淵一小池下線ですが、地元関係者
や法人のみなさんの了解もいた
き、現在測量に入っています。一
部法人のみなさんの要望もありま
す。

◎地方統一選挙——県議会選挙が
4月10日・町議会選挙が4月23
日投票
昭和58年は選挙の年です。4月
に入りまずと地方統一選挙があ
り、県議会議員選挙は3月29日告
示・4月10日投票で、町議会議員
選挙は4月17日告示・4月24日投
票で行われます。有権者数は、昨
年9月2日現在の定時登録で、男
五千七百七十八人、女五千九百六
十九人の計一万一千八百五十七人
となっています。

敷地のいんば
昭和57年度から五カ年計画
でスタートした「野田山保健
休養林造成事業」も本年度工
事が完成に近づいた。太師広
場は、きれいに整備され、池
には間伐のすんだ森林が映し
出されていた。
3月定例会で常葉町長は
「野田山健康緑地公園の本年
度工事は順調に進み、ほとん
ど完成しました。太師広場を
中心とした公園・ハイキング
コースの整備・便所の新設も
終了、面目を一新しました。
町民のみなさんの利用を期待
したいと思っています。」
新年度については、太師広
場の植栽・東屋の建設などに
重点をおいて計画し、キャン
プサイトなども全体計画の中
で行う予定です。今後は、施
設の維持管理や道路の補修な
ども行わなければならないと
思っています」と、現況と抱
負を語っていた。

したので、測量の範囲も多少拡げ
ています。

◎老人保健法は成人病の予防と早
期発見が目的
本年2月1日から老人保健法が
スタートして、六五歳以上の寝た
きりの方を含む七〇歳以上のお年
寄りのみなさんは、すべて市町村



が取扱う老人保健で医療を受ける
ことになりました。この老人保健
法は、著しい高騰を示している老
人医療費に歯止めをかけるべく、
一部有料制を取り入れていま
す。この法律の本来目的とするこ
ろは成人病の予防と早期発見な
ど、国民の老後における健康保持
と適切な医療の確保をはかるた
め、保健事業を総合的に行おうと
するものです。
したがって、昭和58年度は実質
的な「保健元年」ともいえるべき年
度であり、町としても健康教育、
相談、診査、その他の保健事業に
ついて積極的に取り組んでいく必要
があると考えています。

◎青少年問題対策協議会の設置を
検討
最近の青少年非行にみる事件は
家庭や学校だけで対処できないも
のがあり、大きな社会問題として
あらゆる観点からこの問題に取組
む必要に迫られています。当町で
も、今まで一部の出来事として教
育関係者を中心に対応してしま
したが、問題解決のためにはあらゆ
る層のみなさんの協力が必要とな
ります。その中で、松野地区では
対策協議会を発足させ、具体的な
活動に入っています。

◎財政調整基金積立金へ
分析で当町が十八番に
最近の厳しい財政状況を反映し
て、国など各機関では、コンピュ
ターを駆使して財政分析が行われ
ています。静岡県でも県下七十五
市町村の昭和56年度の財政力指数
や公債比率など、二十項目にわた
り分析を行い、その評価を評点数

◎事務合理化設備基金積立金へ
三百七十五万円
◎財政調整基金積立金へ
三千万円
◎東町都市計画道路用地費へ
一千四百五十六万円
◎野田育英奨学基金積立金へ
一千万円
◎中央公民館建設基金積立金へ
一千六百三十三万円

補正予算の内容

総務費に三千二十二万円
土木費へ
一千三百七十六万円

農林水産業費に
二百五十五万円

教育費へ二千四百七万円

農村水産業費に
二百五十五万円

教育費へ二千四百七万円

今月のテーマ

広報ディスプレイ

わが家の一年生

いっぱい友だちを作り
いっぱい遊んで

一日入園も先日行われ、後は入園式を待つばかりとなりました。わが家は娘一人で、親にとっても始めて経験することばかり。心配だったり、まごつきもしましたが娘の頭の中は幼稚園への憧れで一杯のようです。保育用品が、園服が、クツが一つそろったに胸がはずむようで「もうすぐ幼稚園」をくり返し口ずさんでいます。娘

にせがまれ、私も慣れぬ手つきで袋物を縫ったり、したくを始めました。時代が変わり、人が変わり、格好や持ち物が変わったけれど親が子を思う気持ちは変りないようです。わがかりきつたことではあります。わが子を育て、始めて親の心が少しながらかつた気がします。「いいたいことばかり言っ

いっぱい遊んで、泣いたり笑ったり、その中で大切なものを見つけ、心身ともに成長してくれることを期待し願っています。

友だちと一緒に

ソフトボール部へ
本通り三 斎藤富士子さん(42)
月日の流れは早いもので、私が富士川町に嫁して、二十年が流れ去ろうとしている。長女は短大一年生、長男は高校二年生、末娘が中学の一年生になる。夜になり三兄弟が集まると、中学の話、部活

だ。走って行く間にはいろいろなこんな人が待ちうけていると思う。けれどもそれにまけないように力をつけていきたい。そのためにも中学に入る時は私なりの目標を立てて、少しでもそれに近づけるように努力したいと思う。それも、あまり先の目標ではなく、今やる目標を勉強・運動などに立てて一つずつ前に進もうと思っています。



提言者 小林明子

4月から中学生、不安もあるけど、今の私は中学生になるうれしさや楽しさでいっぱい。ちよつぴり大人っぽくみえるセーラー服、中学生になれば、やることがいっぱい待っている。よく母は「中学

三年間はあつというまに過ぎてしまふよ」と言っている。確かに中学三年間で、将来の道をきめる一つの出発点になるかもしれない。また部活動という小学校にはない新しい物が私たちを待っている。勉強の中にも英語が新しく入り、勉強・運動にとってもいそがしくなると思う。

でも4月には、みんな同じスタートラインに立って走り出すの

命を預る病院。一緒に働く先輩たちはもちろん、患者さん一人ひとりにも笑顔で接していきたい。そして、患者さん自身が病氣だということをおぼえるような笑顔が返ってくればいいことはない。おだいに「私と私が言う、相手もほほ笑む。そこに触れ合いがある。私は、その数秒で終わってしまうような触れ合いを大切にしていきたい。

今まで学生だから許された軽薄な態度が、社会人となれば許されない。いつも親にたよっていた私

友だちを多く作り
明るく育て

大楽達 中野静子さん(2)

わが家の子どもは、一男二女です。その内、この春一年生になるのは、わが家にとって将来何の期待もかけず、生まれたときから自由のままに成長してきた末娘で、かえってそれが幸いしてか天真爛漫、幾多の激しい兄弟ゲンカでもまれてきた根性は、少々なことではへこたれませんが、みんなからは「カオ」と呼ばれています。顔が悪いからというのではなく、父親がかわいいつけた「香織」という名前がいつか「カオ」と呼ぶようになったのです。まだまだ頼

りなきような一年生ですが、幼稚園の先生は「友だちの面倒はみるし友だちも多くの心配もない」とのこと、わからないもので。今後、どんな子どもに成長していくか楽しみですが、父親は職業がら転勤があり、途中で転校になる時がくると思います。ですから、それまでに多くの友だちを作り、明るく育てて欲しいと思います。

部活動などで
くいのない中学生生活を

二小六年 小池 功さん

いよいよ四月から中学生になります。楽しい思い出ができた小学校生活も終わり、中学へのスタートが今、始まるようになっています。中学は、今までなかった英語や部活動などがあつて、「がんばってできるかな?」と、不安と期待でいっぱいです。部活動は、中学生を見ていると、朝は早く、その反対に夕方はおそく、とても大変そうだけれど、先輩といっしょにできるスポーツだから、楽しいことがいっぱいあるだろう。時には、つらく苦しい時もあるだろうが、くじけずに、力いっぱいがんばりたいです。小学校での校訓「誠実・規律・親切」の教えを守り、先輩からいろいろ教えてもらい、くいのない中学校生活ができるように努力していきたいと思っています。

わずか六歳の娘に

静岡へ通学を

四十九町 宇佐美 猛さん(4)

わが家の一年生さんは耳が聞こえない。町立第一小学校に入れたくて、八方手を尽したけれど、教育委員会の決定は聾学校だった。4月から小学生になると、絵カードと文字を使い一週間かかって教えた。机とランドセルも新しくしてふん囲気をもり上げる。どうやら理解できたらしく、瞳を輝かせている。けれど、せっかくなさくら幼稚園で得た友とも離ればなれになってしまふし、一緒に通学するのを楽しみにしていた姉の期待も裏切ってしまった。

4月から6時50分の電車に乗って、片道一時間半の静岡までの通学が始まる。二〜三ヵ月したら一人通学ができるように」と言われている。わずか六歳の娘に親の不安は、いつ果てることもなく続く。

広い心を持ち

正しい判断や行動を

上町 斎藤嘉代子さん(4)

梅の花がほころぶころになるとやつと春が来たんだなあと、毎年そんな思いで過ごしていましたが今年はずっと違い、子どもだどばかり思い込んでいた長男が高校

の話になる。姉は「テニス部がいい。現代社会の絶対条件だ」と言い、兄は「女子の剣道部がカッコいい」と言い、本人は「仲良しの友だちがソフトボール部へ入部しようというから、ソフトボールにしようと考えている」と言い、三人三様。そして「中学に入ると、成績順位が三十番まではり出されるけど、その中に私は絶対入っていないから安心して」と言う。暇がある時、秤に小麦粉をのせ、卵を泡立て、ケーキ、クッキー作りを夢中になり、またテレビを見ながらマンガを読み、世の中の恵まれた条件の中で、平凡な生活に、可もなく不可もなく日々を暮らしているようである。精神的にも、肉体的にも、健康に過して、くれることを祈る私です。

いつも笑顔で

触れ合いを大切に

富士見町 小泉芳江さん(18)

昨年11月、就職内定。そのころ私は、それだけで胸をなでおろしていた。が、社会人となる日があとわずかとなった今、その時の気持ちを裏返すように、不安な毎日を送っている。どのような仕事か私を待っているのか。私はそんな不安の中で、常に人との触れ合いだけは大切にしようと思心に決めている。私の就職先は、人の

4月のテーマ

私の旅日記

「紅の林の中に貴女の顔 想い出させる 警梯の旅」友人の女房より。
「オイ」旅行は足腰の丈夫な時に行け、弱くなったら伴って行かぬぞ、と言われて何年か前から旅に出る機会が多くなったことは事実である。数えてみれば、小旅行を含め数多く参加している。根が酒好きなので、旅は面白く、楽しく思う。また主婦のみならず、三度の食事労働から解放され、体を休養させることができるのも旅である。旅先で湯泉にとっぷりつき、明日への活力を養う。これが一番だ。そして、旅行は行くまでの楽しさと旅行中の出来事はもちろん、帰ってからの語り合い、想い出話に花を咲かせ、また次の旅行プランと、残り少ない人生に旅は生甲斐と思う。それぞれの持場を守り、体を大切に、さあみなさん東に西に旅へ出よう。

投稿者へ
大楽達 岩崎袋袋治さん(66)
「幾山河越えさきゆかばさびしさの はてなむ国ぞ今も旅行く」(牧水)
◎4月のテーマ 私の旅日記
◎字数 四百字づつ原稿用紙一枚以内
◎締切り日 4月5日(火)まで
◎注意事項 住所・氏名・年齢記載のこと

宮町の松下さんが
善行表彰を



松下茂作さん (85)

2月18日、静岡県庁で県積善会(会長 藤森常次郎・豊岡村長)の創立一五周年記念大会が開かれ、席上、宮町の松下茂作さんが、長年にわたり宇多利神社に国旗を掲揚し、神木の枝払いや下刈り・間引き、また社

殿補修などを行っている公共生活への貢献が認められ、善行表彰を受けました。そこで3月12日、松下さんのお宅を訪ね、お話をうかがってみました。
—このような善行を行うようになった切っ掛けは?
松下さん 昭和45年ころかね、私と同窓生の長谷川健さんが神社総代会の会長になった時に、いろいろ手伝いをしたのが始めです。それが今まで続いているんです。お宮様に行つて体を動かしていると健康にもいいし、体が続く限り今後も続けようと思っています。

戸籍の窓

58・2・1〜2・28届出
(敬称略)

おめでた

区名	氏名	保護者続柄
堺町	渡邊 英子	睦章 二女
川坂	相馬 頼子	太郎 長女
宮町	望月 聖子	良章 二女
幸町	浅場 香苗	満雄 長女
	熊谷 徹春	将樹 長男
	小林真由美	儀詔 二女

一里塚



2月末の新聞に「無償の好意に厳しい判決」——預った幼児が池で水死した事件の損害賠償請求訴訟で、預った側にも「監督責任あり」と厳しい判決が下された。この場合、どのような経過でこのような結果になったか知らないが、何んでも判決に持ち込むことが最善の方法なのか、私たちが真剣に考えなければならぬ。人間の共同社会における一つのルールの大成である法律とはいえ、人間と人間との信頼関係まで束縛してよいのだろうか、そしてそれが人間の

区名	氏名	年齢
上町	齋藤りゆう	八三
四十九町	堀河なか	九四
本通一	常葉榮一	八七
東町一	渡邊ふみ	六七
南町二	稲葉寅吉	八八
富士見町	井出らく	八二
八幡町	稲葉景敏	六四
清水町	田中俊雄	六八
大北町	吉田ナヲ	七六
	杉山しげ	六六
俵下町	小林繁治	七八
	石川勝治	九二

かなしみ

おかささんの知恵袋
相生町婦人会は、町婦人会の生活部に所属し、ふようの会とともに昭和57年度一年間、毎月第一日曜日に、空カンを中心にゴミ拾いを行ってきました。その中で、夏と冬の二回は、子供会と一緒に行いました。そして、子どもたちがその時の感想をまとめたもののが次の作文です。

心の中の親切・好意・善意をも殺していいのだろうか。私は疑問に思う。

私も去年の10月に、第一子の長男が誕生した時、喜びの反面、この子の成長していく段階で、父親としての責任が果せるだろうかという不安が頭に浮んだ。やがてこの子が成長し、子ども同士で遊んでいて、誤ってケガをさせてしまったり、友だちの家で自分がケガをしたりすることなど、このニュースに似たことは、よくあることと思う。

風潮が、子どもの非行を生んだともいえるだろう。私は、わが子の成長を温く見守ると同時に、人間の社会の和、そして信頼関係を、もう一度、家族と一緒に考えていきたいと思っています。

町への寄付金

(敬称略)

三万円	社会福祉事業費へ	原方 稲葉 厚
一千万円	野田育英奨学基金へ	東京都 野田 力三
五万円	社会福祉事業費へ	大北 吉田 虎男
五十万円	社会福祉事業費へ	本通り一 佐野 卓博

かんひろい

一 小二年 望月 淳

きょうは、子供会でかんひろいをしました。かげのほうに、かくしてすててあったり、畑の中に、なげすててあったりして、ひろうのに、とてもたいへんでした。

ぼくは、シズオカヤのふくろをおかささんにもらっていたので、ふくろがいっぱいになるまでがんばってひろいました。ぼく一人でも、こんなにたくさんひろったんだから、友だちのぶんを、あわせると、ものすごいゴミだなあと思いました。ぼくはゴミをやたらにすてないように、きをつけたいと思います。



△文協俳句会▽

宮町 増井 冬木
菜の花や入学祝ふ子直ん中に地球無事に廻り孫ども入学す
氏神へ詣で続けて寒明かす

大北町 天野 たま
青天へ語りかくごと木に芽吹く嫁入りの荷の先行くは初蝶や

南町 法月 幸子
師や友や十指に余り春隣
着く声の美しく賑やか春炬燵

南町 影島 智子
ミンクシヨール掛け東京に二日泊つ

四月馬鹿住めば都と声張りぬ

南町 田辺つぎ子
子の進路決まりよく咲く福寿草

旭町 笠井みち子
二十年わがぬくもりのシヨールかな

清水町 宇佐美裕子
山犬の咆哮春を呼ぶふなり

南町 宇佐美幸子
湯気立ててあがる湯豆腐夫婦る

南町 上野みつ子
湧く水を賜へる神に注連飾る

南町 上野 君江
馬鈴薯を植ゑ終へ夕日存分に

南町 望月 洋子
耐うるだけ耐へて紅さす杜鵑の芽